

日本のがん患者さんへ新薬を

公開シンポジウム

より早く届けるために

日時	平成24(2012)年 3月24日(土) 13:30~16:30	主催	厚生労働省 「早期探索的臨床試験拠点整備事業」 がん研究開発費 「がん治療の早期開発試験およびその研究体制確立に関する研究」班
会場	大手町サンケイプラザ 4Fホール	共催	J-CAN: Japan Cancer Action Network
司会	大津 敦 (国立がん研究センター 東病院) 天野 慎介 (NPO法人 グルーブネクサス)	講演 1	新しい薬が承認するまでの 仕組みについて 医薬品医療機器総合機構 河野 典厚
開会	開会のごあいさつ: 本シンポジウムの主旨 大津 敦 がん患者から見た 新薬承認の問題提起 天野 慎介	講演 2	海外で使える薬を日本でも 使用できるようにするための 国の取り組み 厚生労働省 医薬品局審査管理課 宮田 俊男
閉会	まとめと閉会の言葉 大津 敦	講演 3	日本からの 新しい抗がん剤開発の問題点 日経BP 宮田 満
		講演 4	日本からの新薬開発を目指した 医師の取り組み 国立がん研究センター 東病院 吉野 孝之
		講演 5	医療イノベーションの取り組み 内閣官房 医療イノベーション室 八山 幸司
		講演 6	がん患者が求める 制度改善の方向性 卵巣がん体験者の会 スマイリー 片木 美穂
			総合討論 (60分)

参加費
無料

事前登録
不要

お問合せは
シンポジウム事務局(国立がん研究センター 東病院内)
(メール)
souki-symposium@east.ncc.go.jp